
第3回 三朝町議会定例会会議録（第7日）

平成23年3月14日（月曜日）

議事日程

平成23年3月14日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第5号 平成23年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第6号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第7号 平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第8号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第13号 平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第14号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第11 議案第15号 平成23年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第12 議案第16号 平成23年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第13 議案第17号 平成23年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第14 議案第18号 三朝町の事務からの暴力団排除等のための関係条例の整備に関する条例の設定について
- 日程第15 議案第19号 三朝町情報公開条例の一部改正について
- 日程第16 議案第20号 三朝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第21号 三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び三朝町交通安全指導員の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第22号 三朝町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第23号 三朝町税条例の一部改正について
- 日程第20 議案第24号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について

- 日程第21 議案第25号 三朝町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第26号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第23 議案第27号 三朝町特別会計設置条例の一部改正について
- 日程第24 議案第28号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第25 議案第29号 第10次三朝町総合計画について
- 日程第26 議案第30号 平成22年度三朝町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第27 議案第31号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第28 議案第32号 平成22年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第1号）
- 日程第29 議案第33号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第30 議案第34号 平成22年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第31 議案第35号 平成22年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第32 議案第36号 平成22年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第37号 平成22年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第34 議案第38号 平成22年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第5号 平成23年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第6号 平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第7号 平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第8号 平成23年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 平成23年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第13号 平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第14号 平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算
- 日程第11 議案第15号 平成23年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第12 議案第16号 平成23年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第13 議案第17号 平成23年度三朝町国民宿舎事業会計予算

- 日程第14 議案第18号 三朝町の事務からの暴力団排除等のための関係条例の整備に関する条例の設定について
- 日程第15 議案第19号 三朝町情報公開条例の一部改正について
- 日程第16 議案第20号 三朝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第21号 三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び三朝町交通安全指導員の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第22号 三朝町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第23号 三朝町税条例の一部改正について
- 日程第20 議案第24号 三朝町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第21 議案第25号 三朝町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第26号 三朝町介護保険条例の一部改正について
- 日程第23 議案第27号 三朝町特別会計設置条例の一部改正について
- 日程第24 議案第28号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第25 議案第29号 第10次三朝町総合計画について
- 日程第26 議案第30号 平成22年度三朝町一般会計補正予算（第8号）
- 日程第27 議案第31号 平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第28 議案第32号 平成22年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第1号）
- 日程第29 議案第33号 平成22年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第30 議案第34号 平成22年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第31 議案第35号 平成22年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第32 議案第36号 平成22年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第37号 平成22年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第34 議案第38号 平成22年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）

出席議員（12名）

1番 清 水 成 眞

2番 藤 井 克 孝

3番 吉 田 文 夫

4番 福 田 茂 樹

5番 遠 藤 勝太郎

6番 平 井 満 博

7番 松 村 修

8番 横 木 文 雄

9番 知久馬 二三子

10番 山 田 道 治

11番 杉 原 憲 靖

12番 牧 田 武 文

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 遠 藤 英 臣 主幹 ————— 山 中 恵 子

説明のため出席した者の職氏名

町長	—————	吉 田 秀 光	副町長	—————	森 脇 光 洋
会計管理者	—————	松 原 茂 隆	総務課長	—————	朝 倉 聡
財務課長	—————	大 村 哲 也	税務課長	—————	石 井 秀 己
町民課長	—————	山 根 智 美	農林課長	—————	山 根 猛 昭
農業委員会事務局長	———	田 栗 幸 人	企画観光課長	—————	松 浦 弘 幸
健康福祉課長	—————	前 田 敦 子	建設水道課長	—————	岩 山 靖 尚
総務課参事	—————	平 井 文 彦	教育委員会委員長	———	山 本 邦 彦
教育長	—————	山 口 博	教育総務課長	—————	布 廣 覚
生涯学習課長	—————	真 嶋 峰 和	農業委員会会長	———	安 藤 雅 啓
代表監査委員	—————	和 泉 澤 吉	国民宿舎事業管理者	———	知久馬 孝 紀

午前10時30分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第1 議案第5号 から 日程第34 議案第38号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して日程第1から日程第34までの34件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して日程第1から日程第34まで、すなわち議案第5号から議案第38号までの34件を一括議題といたします。これより質疑に入ります。質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

質問される方は自分の番号を言ってから挙手していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

議案第5号、平成23年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、第1条の歳入歳出予算から行います。

まず、歳出の1款議会費から2款総務費まで、30ページから41ページまで、質疑ございませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 32ページの一番下の欄に不用財産解体撤去費、中津分校だというふうに思いますが、642万6,000円。これを算出された基準というのは何でしょうか。何をもとに。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの遠藤議員の算出したもとは何かということでございます。これは、県の積算システムがありまして、そちらに基づいて解体撤去費、コンクリート、それから産業廃棄物となりますコンクリートの処分について積算したものでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 中身の状況というのは多分把握されとると思うですけれども、例えばアスベストが吹いてあったり、それからPタイルといったものがあつた場合には物すごい撤去費が要るとこのことのように思ふですけれども、それは確認されておりますか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの確認しとるかということでございますが、アスベストが含まれとるということについて確認をさせていただいております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 例えば今、倉吉にあるジョイニーですかいね、あその場合もアスベストがあるということで、その土地代を含んで処分しても到底間に合わないというふうに聞いております。そういう中において、中津分校はこのアスベストがあるという状況の中で600何ぼで足るかということをちょっと確認したいんですが。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまのアスベストを含んだ処分について予算が足りるかということの御質問でございますが、県の積算システムに基づいて積算を行い、さらにはこの金額が妥当であるかということで民間業者の方の見積もりも念のために確認してとっております。その中で処分費も含めて金額がこの中で回るということで見込みを立てましたので、提案させていただいております。よろしく願いいたします。

○議長（牧田 武文君） ほかに質疑ありませんか。

４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） 35ページ、一番下のところで地域自主活動支援交付金900万円、これは年度を限ってあったように思うんですけども、その確認をさせていただきたい、年度が区切ってあるかどうか、支援される。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 年度が区切ってあるかという御質問は……。

○議員（４番 福田 茂樹君） 3年とか5年とかというのがあったような気もするんですけど。

○総務課長（朝倉 聡君） 当初ですか。そうですね、大体5年程度ということで見直しを図るということで検討はいたして、この額にいたしましたということでございます。

○議長（牧田 武文君） ４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） 5年程度、今、何年目ですかいね、これは。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 済みません。本年が6年目でございます。

○議長（牧田 武文君） ４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） 先ほど5年程度という、程度というのは、ふえるということなんですか、今6年目と言われましたけども、今後も続くんですか、これは。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 来年度がちょうど区切りの年でございまして、これまでどおりの額についてこれを続けるかどうかを検討いたしましたが、平成23年度については従来どおりの額

について交付していこうということに決定して実施いたしておるものでございます。よろしくお願ひします。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 35 ページの中ほどにあります防災行政無線管理一般経費ということで、説明資料の中に戸別受信機の整備ということがありますが……（「声大きい」と呼ぶ者あり）ということがありますけれども、昨年に無設置の調査をされて対応するということになりますけど、ことし初めて機械を購入されて配布ということですか。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 遠藤議員の質問にお答えします。

22年度購入いたしまして処置しております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） それではちょっとおかしいでないですか、ここに戸別受信機の整備ということで上がるとるわけですがけれども、説明資料33ページ。

○議長（牧田 武文君） 平井総務課参事。

○総務課参事（平井 文彦君） お答えいたします。

これについては、208万2,000円の内訳というか、その中身のことについてですよね。（発言する者あり）それにつきましては、まず今設置しておられる世帯の修繕、これが50万ほど見ております。それから新たに新しく転入ですね、それから故障で使えないというようなものに対応するために100個購入するように見ております。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） なら、今ある家庭は大体全部配置したということでいいですね。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 現在、次々まだないという世帯で来ておられますので……。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 答弁が違うがな。ないってのは、配置したって言ったのに。

○総務課参事（平井 文彦君） 配置というのは、購入して……。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 配置というのは、持って行ってつけたのが配置だろ。

○議長（牧田 武文君） ちょっと済みません。もう一遍、質問してもらえますか。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 要するに去年調べて、22年に調べて設置っていうか、するということでしたよね。それでことしこの予算が上がるとるというのは、さっき言われたように新し

く入った方とか修理とかでする費用を組まれとると言われたんで、全部もう配置は済んだかって聞いたですよ、さっき。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 2月の初めに案内差し上げて、実際178世帯に案内しました。今それぞれ申請書を持って交換というか、設置に向けてとりに来てもらっとりますので、それが大方終わるような段階です。以上です。

○議長（牧田 武文君） 次、ほか。
4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 35ページ、下から2つ目、三朝町地域運営組織活動支援事業40万円、竹田地区がバスの試験運行ということでもありますけども、具体的にはどんなことをするのか、1年かかってするのか、その内容を教えていただきたいのと、企画観光の持ってるバスの運営との関係は、これをやることによってどうなるのかをお聞きをしたい。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 議員御指摘の事業につきましては、竹田地域で高齢化が進みまして自動車が運転できないという……。

○議員（4番 福田 茂樹君） それはわかる。

○総務課長（朝倉 聡君） それで、その方の通院とか買い物に対して試験的に運行しようというものでございます。試験運行の時期は5月から7月、3カ月間を試験運行して、その結果によって次の対応について考えたいということでございます。

それであと、現在の路線バスとの兼ね合いですけれども、今回の試験運行については路線バスが運行していない5集落について試験的に運行しようとするものですから、現在の路線バスとはちょっと範囲が違うということで御理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議員（4番 福田 茂樹君） 運行内容が聞きたい。

○総務課長（朝倉 聡君） 運行内容は、地域の方で車両を借り上げてボランティアによって運行するというところでございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） それはバスを借り上げるんですか、運転手は竹田地区協議会の方がされるんですか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 車両につきましては、7人乗り程度のワゴン車を地域の方から提供

していただくと。それで運転手については、ボランティアを募って実施されるということでございます。

○議員（４番 福田 茂樹君） バス、企画観光課にあるの、その絡みを。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） バスとの関連でございますけど、先ほども総務課長が言いましたように、現在バスの通ってない路線の方を対象にしておるということで、それを穴鴨の地域の拠点までの交通の確保を図るということでございますので、バスの利用者がふえるということにもなるというふうに思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

３番。

○議員（３番 吉田 文夫君） ３１ページ、上から１０行目、予算資料は２１ページになりますが、自治大学の中央研究所経費として出されております派遣ですね、これ２名と書いてるんですが、期間と職員の年齢ですね、若いのが行くのか、中年なのか、それとも全くわからん、どうせ研究ですから若いんだと思うんですが、その点ちょっと聞きたいんですが。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 自治大学校の関係でございますけれども、第２部１名、第３部１名ということで予定いたしております。それで第２部につきましては、およそ３カ月間です。それで第３部につきましては大体一月ということでございます。第２部につきましては、年齢が大体４２歳ぐらいまででございます。それで第３部につきましては五十二、三歳程度ということでございます。第３部については管理職が対象ということでございます。第２部については係長級ということでございます。おおむねそのようなことでございます。

○議長（牧田 武文君） ３番。

○議員（３番 吉田 文夫君） ということは中高年ですな。大学ですからもう少し若い頭の切れる人が研修に行った方がいいと思うんだけど、それは予定ですから仕方ないんで、わかりました。

○議長（牧田 武文君） ３番。

○議員（３番 吉田 文夫君） ３２ページの一番下ですね、これは中津分校の校舎解体撤去ですが、私、雪が降る前に行ってきたんですけど、見る限り大体予算が６５０万もかかるようなあれに見えなかったんですが、この額は何を想定してやったんですか。

○議長（牧田 武文君） それ、さっき遠藤さんが……。

○議員（3番 吉田 文夫君） 言うたけど、この根拠、金かかり過ぎるからもう一遍言うて。

（「同じ質問だけえ」と呼ぶ者あり）もういいです、そんなら。（「根拠だけ」と呼ぶ者あり）

○議員（3番 吉田 文夫君） 根拠は、何で650万もかかるかと思って。（「もう一遍言ってあげて」と呼ぶ者あり）もう一回聞きたい。

○議長（牧田 武文君） はい。

○財務課長（大村 哲也君） 吉田議員の根拠は何かというところでございます。これは面積から建屋のコンクリートのボリュームをはじき出して、破碎して解体処分し、それを廃棄物処分場まで運んでいくと、そして処分する額を県の土木積算システムを用いてはじき、さらに民間からの見積もりを徴して予算額を上げさせていただいているところでございます。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） いいです。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

じゃあ、5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 33ページから34ページにかけてですけども、交通安全関係でちょっと質問させていただきます。

人口密度による飲酒運転、去年が1位でことしが3位ということで非常に不名誉の記録を更新し続けておりますけども、これに対して対策というのはどういふのをされておるか、ちょっと聞きたい。

○議長（牧田 武文君） 平井総務課参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 遠藤議員の質問にお答えします。

これに関しては、個人のモラルが第一原因になると思いますけども、町挙げて、それから各警察署連携を密にして対応したいと考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいかな。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 済みません、33ページの分ですけど、中学生手作り訪仏事業の分の355万7,000円の分についてですけど、これは人材について学校に丸投げされるのか、また過疎債は2年に1度無料にするのか、その辺をちょっとお伺いいたします。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 中学生手作り訪仏事業ですけども、今、選考のことのお尋ねだっただと思います。選考につきましては、中学校と教育委員会で公正に選考したいと考えておりま

す。中身的には、作文、そして面接、生活態度等、総合的に勘案して教育委員会と中学校で決定していきたいと考えておる次第でございます。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） この生徒ですね、生徒6名、教員1名、国際交流員1名、これについて無料にされるという、その根拠は、お聞きいたします。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 今は派遣経費のお尋ねだったと思います。この経費につきましては、町の負担としまして、航空運賃、そして視察等に伴います移動の交通費、宿泊費、必要経費等考えております。そして個人の負担としまして、旅券の取得代とか旅行の保険代とか現地の食事代、それから土産代等、このようなことでの個人の負担を考えておるものでございます。全部丸抱え、三朝町が持つという考え方ではありませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） よろしいかな。

ちょっと済みません、布廣課長、さっき質問で2年に1度これを計画しとるかという質問されて、その答弁ができとらんと思ひますので、最初にその答弁を。

布廣課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） この事業は、本町とラマルー・レ・バン町の姉妹提携20周年を記念して中学校の生徒を交流団として派遣するものでございます。今後、大体2年に1回はこういうことでの事業を計画したいと今考えておるところでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今まで国際交流員でラマルー・レ・バン等を含めて行かれた中学生等は半額、2分の1個人負担で行っておられる、そこら辺の調整はどのようにされますか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 負担の関係でございますけど、今まで平成3年度には中学生14名、大人3名、17名をサッカーの大会参加ということで町のふるさと振興財団が47万円ほど負担していただいております。それから平成10年度には、三朝町中学校友好訪仏交流団の派遣事業ということで町が30万円負担しております。それからもう1点、平成12年度ですけども、ワーキングホームステイ in ラマルー・レ・バン事業ということで、中学生5名、国際交流員1名、6名を派遣しております。このときには広域連合の助成金、1人当たり14万円の助成が出ております。このときの個人負担金としまして大体十八、九万ということで事業を実施した経過はあるということは伺ってはおります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

2 番。いいですよ、どうぞ。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 済みません。福田議員の方から 3 5 ページの一番下から 2 番目、三朝町地域運営組織活動支援事業で 4 0 万、これ先ほど執行部の方から説明あったんですけど、地域協議会の方はワゴン車って言われたですね、7 人乗り、それはちょっと違うと思うだけ。今計画されとるのは普通乗用車、運転手入れて 5 人乗り、個人のを所有されてナンバーのないの、そんなを車検を受けて、保険掛けて運行するような計画にされてますけどね。

○議長（牧田 武文君） 総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 私がちょっと耳にしとったのは、7 人乗りのワゴン車というふうに聞いておりましたが、ひょっとしたら藤井議員のおっしゃるのが正しいかもわかりません。それは申しわけございません。確認いたします。よろしくお願いします。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） 予算説明の 3 3 ページのラマルー・レ・バンの姉妹都市受け入れ事業の 1 7 3 万 1, 0 0 0 円というのは、内訳というのはどのようなあれでしょうか、聞かせてください。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 主なものは、ラマルー・レ・バンから来られる代表団の方の三朝町に入られましてからの宿泊経費、それから滞在経費が主なものでございます。そのほか地域交流記念行事とかの経費、それから町全体の交流事業の経費でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 9 番。

○議員（9 番 知久馬二三子君） わかりました。その滞在経費なんかというのは、やっぱり町が持たないけんもんでしょうか。例えば、こちらの三朝町の方から何らかの形で交流に行くという場合には、すべてが三朝町が持たないけんというのが実態のようですけども、何かやっぱり交流の仕方というか、その辺のことが私には納得いかん面がありますので、もう少しちょっとどのように考えておられるか、その点についてお願いします。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） ラマルー・レ・バンとの交流の経費につきましては、交流当初

から相互に訪問をした場合には、それぞれの滞在地における経費というのはそれぞれの町が負担をするという約束になっておりますので、それに基づいて現在もやっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） もう一回いいです。

○議員（9番 知久馬二三子君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 33ページの中ほど魚の豊かな川づくり事業12万5,000円、説明資料24ページでございますが、関連しますけども、下の方に鳥取県魚の豊かな川づくり基金事業ということで、三朝町小鹿地域とかみささ村地域とか竹田地域とかいろいろ書いてあるわけですけども、高勢地区とか賀茂地区っちゅうのが上がとらん、この経過っちゅうか、そういうのを聞きたいわけですけども、毎年、西小、あそこの賀茂橋が開通のときも放流されたという経過がずっとあつとるようですけども、この西小にこだわられる意味というのをちょっと聞きたい。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 西小学校にこだわるということ、これは三朝町がやっておる事業でございます、毎年そういうふうな事業をやって定着しておるということでございます。それと、小鹿なりにつきましても、地域の行事としてそういうふうなことをやられておりますので、2分の1というふうなことで助成をしておるということでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） なぜこういうことを聞くかといいますと、中部ダム廃止に伴って河川工事が進んでおまして、中でも加茂川ですけども、魚がほとんど見られない、加茂川からその近辺ほとんど見られないという状況にあるのに、これは例えば地域で要望すれば半額補助っちゅうことになるわけですか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 今、地域で要望すればということに対してですが、これは県の豊かな川づくり基金事業から直接地域の方に交付される基金でございます。いわゆる町の会計を通らんものでして、これは各地域協議会が直接要望されておって、それでとられてる、交付決定を予定されたというものでございます。それとあわせてですが、町でやる部分については、それぞれの学校を1年ごとに持ち回りという形で計画させていただいたものでございます。よろしく

お願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今言われると、地域が県に直接要望されないけんということのようでございますけども、ということは、町は全然タッチせんということですね。要するに、何でこう言うかといったら、ほんに魚のすみにくい状況の川になっとる、河川改修されて。川全部流れて石がごろごろ転んどるような状況で、それで今サギとかカワウとかいろんなんがおって、みんな食っちゃうというようなことで、ほとんど魚がおらんという状況ですわ。それで聞いとるわけですけえ。西小関係に、校区は別だって言いなっただけど、こういうのも例えば加茂川に充てるとかちゅうことは考えておられんですか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 24 ページの方に書いております小鹿地域協議会から下の……（発言する者あり）町の方ですか。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 町の。だけえ、西小にばかり出て、学校でなしに、町の事業なんだ。県は直接的に言えということなんだろ。

○総務課長（朝倉 聡君） 検討させていただきます、じゃあ。今年度はこういうふうなことでもう予算をつけておりますので、これで実施させていただきたいと思いますが、次年度以降は議員御指摘のことについても検討させていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 35 ページ、下から6行目と5行目ですね、自立推進員報酬、この2万5,000円については何を根拠に2万5,000円にされてるかという分と、地域自立活動支援の交付金900万円、これについて収支決算書等が各地域協議会から出てるのか、お伺いします。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 自立推進員の報酬でございますけれども、これは以前、公民館長の報酬をずっと継続しておりましたけれども、その金額が、自立推進員というふうなことになるまして公民館活動以外にもいろいろ仕事をされるというふうなことがございまして、わずかですけども、値上げをして今の月額2万5,000円という金額を設定したということにしております。

それからもう1点、地域協議会の活動につきましては、決算書についてはきちんといただいております。

○議長（牧田 武文君） よろしいかな。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、次に、3款民生費から4款衛生費まで、42ページから51ページまで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 42ページの民生児童委員活動補助金ですけども、数字ではなくて、民生委員の活動に対して情報が乏しいということをよく聞くんですけども、実態はどうか、お知らせ願いたい。個人情報保護という観点でなかなか民生委員の方に情報が行き渡らないで、活動がちょっとやりにくいということを聞きますので、そういう実態があるのかどうか。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） ただいまの山田議員の民生委員の活動がやりにくい状況があるかどうかというお尋ねでございます。個人情報保護法というものがあまして、地域にお住まいの方の情報、独居だったり、障害の程度だったり、ひとり親だったりというようなことがあるかと思っておりますが、なかなかそういうものについて民生委員に直接そういう情報をお出しすることはしておりませんので、民生委員さんがそういう情報を欲しいんですけども、ないから活動しにくいというようなことはおっしゃってるんじゃないかと思っておりますが、住民基本台帳法でも民生委員さんには住民情報といいますか、閲覧ができますので、そういうところにおいては情報は提供しているようになっております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 消防団の方に聞きますと、情報が流れておってそういう対応がいつでも可能な状態になってるし、ある町では、三朝以外の町では民生委員さんと覚書などを交わされてきちっと秘密が漏れないようなことにしながら情報提供がなされてるというような事例もありますので、ぜひ民生委員さんの活動が十分行われますように御配慮願いたいと思っておりますけど、もう一度。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 災害時等の見守りとかというようなことで、消防団と、それから民生委員とか区長さんとかということで連携しながら、そういう場合には対応できるようにネットワークづくりといいますか、そういうことはやっていかないといけないと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 私が言ってるのは、災害時のみならず、平時の活動においてそういう覚書等を交わしながら、個人情報が出ないようにしながら民生委員さんの活動に何かなるような情報を与えていただきたいということを申し上げております。もう一度。平常時です、災害時じゃなくて平常時でも民生委員さんの活動が十分行われるような配慮をしていただきたいなというふうなことです。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（10番 山田 道治君） はい。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） わかりました。検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 44ページ、中ほどよりちょっと上、老人クラブ活動費補助金103万9,000円、これの算出された内容を教えていただけませんか。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） これにつきましては老人クラブ活動費でございますが、103万9,000円、町内の8老人クラブに対しまして基本額5万4,000円、その他活動経費等を含めましてそれぞれの老人クラブの方へ補助金としてお出ししているというふうなものでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 8クラブは、どこどこですか。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 現在、三徳地区の老人クラブの活動がなかなか活動ができにくい状態にあるというふうなことでございまして、小鹿、それから湯の街老人クラブ、それから高勢、それから賀茂、それから竹田地区では南の第1と第2がございまして。あと、賀茂を申し上げましたですね。（発言する者あり）中央ですね、失礼しました。賀茂が2地区ございまして。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 老人クラブ、つまりないところには補助金が出ないということで

ございますので、ぜひ組織をしていただきまして、それを努力していただきまして、ないところにも設立をお願いできるような体制に持って行ってほしいなと思っております。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 元気な高齢者の方々がふえるというふうなことで、御活躍の場がふえるというのは非常に望ましいことであるというふうに思っております。そのあたりで後方支援といいますか、そのようなことも現在やっているところですが、改めてまた各老人クラブの方の御意見もちょうだいしながら進めていきたいというふうに思っております。

それから、先ほどの補助金のことでございますが、追加で、国と県からの補助金を交付しているというふうなことでございます。あわせて修正して追加いたします。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） ちょっとお尋ねします。43ページですけども、中段からちょっと下の方に就労継続支援B型事業費1,900万、この事業が載っておりますけども、継続というからは22年度、就労に対する支援事業はあったと思いますが、この22年度の実績と内容についてちょっと伺っておきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 就労継続支援B型事業費のことでございます。平成22年度の実績はいかがかというふうなことでございますが、22年度、9名の方が利用をなさっております。9名の方がこの事業にのっかって、一般企業へは就労が難しい方が支援のある事業所で就労の機会を得ていらっしゃるというふうなことでございます。9名でございます。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 特に年代層によって非常に就労に対する事情はそれぞれ違う面があると思うんですけど、こういった今の現状の社会情勢の中で非常に一軒一軒の生活内容が違うという、詰めていけば、そういった非常に厳しい家庭もあれば、内容にはいろんな状況が異なると思うんですけども、もう少しやっぱり一世帯、一世帯といいますか、本当に現実の中からどこにどういう支援という面のきめ細かな取り組みというのが必要な面があるんじゃないかと思っております。その点について、23年度の事業の中でどういう視点でとらえていくかということについての、ちょっとその辺を伺っておきたい。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） もっと幅広くといいますか、深く、対象者いらっしゃるんじ

ないかなというふうな御意見だったと思います。この就労継続支援B型事業、これは障害のある方に対する事業でございます、その障害のある方がどのように就労へ結びつけていかれるかというのは、43ページの下から7行目あたりに相談支援事業というのがございます、こういう方々の相談支援を受けるといふふうな事業と絡めまして、23年度につきましては9名だった方々を13名というふうなことで4名増員というふうな予算の枠をとらせていただいているところ
です。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、6款農林水産事業費、51ページから57ページまで、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 56ページ、予算説明資料107ページでございます竹林整備地域活動支援補助金742万5,000円でございますが、これについて地域協議会や集落等の団体で実施と書いてあります。そこら辺の内容を教えてくださいませんか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 竹林整備事業につきましては、今年度は3ヘクタールで予定をさせていただきとるところでございます、地域協議会や集落等の団体で組織されましたところに補助をしていきたいということでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） これはこれから地域協議会や集落が応募されて、そこに補助金を出されるというような意味合いでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 23年度で3年目になりますけども、片柴の竹林の皆さんでありますとか、それから本泉の皆さんでありますとか高橋の皆さんとかという取り組みもされておりますので、その方々の継続ということもございます。そういうものを含めまして来年度は3ヘクタールという数量を見込ませていただきましてやっとなるところでございます、最終的には、新しい年度になりまして申請をいただきまして、現地で実際に測量いたしまして面積なり密度なりの計算で補助金の額は決定するということになります。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1番。

- 議員（1番 清水 成真君） では、新たに集落等で応募しても構わないということですね。
- 議長（牧田 武文君） 山根農林課長。
- 農林課長（山根 猛昭君） 現在はこういう数量で予定しておりますけど、新たに要望されるということはしていただきたい、整備をしていただきたいという方向でありますので、していただきまして、今回予定しておりますもの以外に予算が必要ということでしたら、また補正なりのお願いをさせていただきたいというふうに考えております。以上です。
- 議長（牧田 武文君） ほかに。
- 6番。
- 議員（6番 平井 満博君） 54ページの地域民芸品等保存伝習施設一般管理費、再三にわたって議会の方も俗に言う美術館廃止ということを言われてきて、管理をするということで来ておられますけども、今の管理状況を見ると、本当に継続するだけの価値があるのかなという思いでございます。ここに上げられている予算190万、これは管理費だけであって、人件費を含めれば相当な金額になると思うのですわ。本当に今後の方針としてどのように考えておられるのか、ちょっとお伺いしたいというふうに思います。
- 議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。
- 教育総務課長（布廣 覚君） 今の御質問は、今の美術館の状況を見るに当たって、これでもいいのかということだったと思います。今の予算には指摘のとおり一般的な管理費しか上げておりません。それから町の職員が1人向こうに行って業務をいたしておるのが状況でございます。この美術館につきましては、町民の美術館で催すものに対しまして、少しでもこういったものに対しまして町民の方に来ていただきたい、こういった美術的なところ、そしていろんなことがあるとは思いますが、町民の方の文化の向上を考えたい、このように考えてはおるところでございます。23年度につきましては、実際にこういった美術館でいいのかというようなところを根本から検討する年にしたいと今考えてはおるところでございます。
- 議長（牧田 武文君） 6番。
- 議員（6番 平井 満博君） 今、これから検討したいということですが、実際に町民が美術館に行ってみたいというような状況ではないというふうに思っております。これを民間委託という形の中で本当に方向がえしながら経費を抑えていくということも検討されるべきだというふうに思っております。
- 議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。
- 教育総務課長（布廣 覚君） 23年度は、今、議員御指摘いただいた意見も参考にしながら

美術館のあるべき姿を検討してまいりたいと考えておる次第でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 51ページ、予算説明資料は113ページなんですけども、農地制度実施円滑化事業の事業内容ですけども、農地の適正管理と活用を推進するというの、これは具体的にどういうふうにやられるか、お聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 田栗農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（田栗 幸人君） 済みません、もう一度お願いします。

○議員（10番 山田 道治君） 2回目になるけえ立たれん。

○議長（牧田 武文君） いや、2回目にならんです。ちょっと聞き取れなかったということなんです。

○議員（10番 山田 道治君） それじゃあ、113ページです、説明資料の113ページの農地制度実施円滑化事業の事業内容について説明を願いたい。

○議長（牧田 武文君） 田栗農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（田栗 幸人君） 農地制度実施円滑化事業の事業内容でございますが、最初の細部説明のところで申し上げましたが、昨年12月に法が変わりました。それによって法が適正に実施されるようにということでございますが、細かいことは事務的なことでございますが、それ以外に農地パトロール等ですね、そういうものが義務づけられましたので、こういうものにかかる経費を上げております。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 管理に関しては、農地基本台帳管理費と重複するところがあるということですか。事業は全く別ということですか。

○議長（牧田 武文君） 田栗事務局長。

○農業委員会事務局長（田栗 幸人君） 直接には、関連はありますが、それは分けてあります。

○議長（牧田 武文君） よろしいかな。

ほかに。

10番。ほかでいいですよ。

○議員（10番 山田 道治君） 53ページの地域特産物育成事業でサンショの苗木配布等で15万8,000円使われますけれども、その配布とあわせて加工品の製作研究をなされるというこ

との説明がありました。これ全部苗木代じゃないと思いますけども、全部苗木代になっちゃうかどうかということと、どういう研究を考えておられるかということを知りたい。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） この予算の内容につきましてですが、全部が苗木の配布という予算ではございません。あと、加工品の研究ということも入っております、それは一般質問のときにも申し上げましたけども、神倉大豆の地大豆とあわせた形でサンショで何か特産品という形といますか、サンショで新しい販売品ができないかというふうなことを含めまして研究をさせてもらいたいということでございまして、その原材料費等を見込んでおるところでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） ナラ枯れ対策についてお聞きしたい。先回、決算のときも、なかなか効果が上がらないまま実施されたというようなことがあったんじゃないかなと思いますけども、まだ対処方法が確立されてないということをお聞きしてるんですけども、そういう処方せんができない状態になるのに治療されるというような考え方をされてるのかどうか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 9月定例議会のときに御質問いただいてお答えさせていただいたというふうに記憶しておりますけども、ナラ枯れの対策で新年度も450万ということでお願いさせていただいてるところですけども、確かにこれをすれば絶対というものは今確立されてない状況でございますけども、県の方の林業試験場内のところでも研究がなされておるところですが、ナラ枯れのカシノナガキクイムシの個体の数を減らして、入るのを減らすということが今、対処法としてはそういうことを考えられておるということで、少しでも西に行くのを防ぐといいますが、木に回るのを防ぐために、個体を減らすために、ナラの木に入っておりますカシノナガキクイムシの幼虫がふえるのを防ぐために薬剤の注入をすることと、木の方に来るのにバンドを設置しまして、そこで、そこに誘引して、そこに虫を引きつけて中に入らせないようにするというふうな方策が今考えられておるところの主なものですので、これを引き続き県の補助をいただきながらやっていきたいということでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 今の説明で、やっぱり効果的な方法はまだ何もない、にもかかわ

らずやらないけん。状況はわかりますが、担当課としては何もしない選択肢はないだろうと思いますけども、それにしても何か余りにも効果がないので、また来年の決算にでも山を見させてもらって、あのころになると、また真っ赤になってるんじゃないかと心配しての、本当にこの効果がある方法、研究の方をまずなされた方がいいんじゃないかと。他の研究施設もありますので、ここだけで研究できませんけども、そういうことも意見申し上げて、終わります。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですね。

○議員（10番 山田 道治君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 同じ56ページなんですけども、森林巡視、説明資料の。この107ページによりますと、森林巡視による施業促進事業になるんですけど、森林対象面積が1万1,200ヘクタール、これは恐らく町の山林の2分の1の面積の112平方キロメートルのことだと思いますけども、その下の方の説明がちょっとよくわからないので、23年からこの面積が半分になってる。つまり町内の山林面積の4分の1を23年度にやられるということなのか、それと、もう1個、下に書いてある、それ以外のものを全部、仮に4分の1やられるとしたら、4分の3を全部72万3,000円でやれるのかどうか、ちょっとこの説明をお聞きしたいと思っています。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 1万1,200ヘクタールといいますのは、町内の民有林の面積でございまして、鳥取県の造林公社なり森林総合研究所なりで分収造林をしておりますものは除いてありますし、町行造林の面積も除いてあります。そういう形で、その除いた面積が1万1,200ヘクタールということでございまして、その2分の1の面積を従来の、今1万1,200ヘクタールをすべて巡視という形で森林組合に委託しておりましたけども、来年度からはその2分の1を今までどおりやっておりましたように森林の所有者にも、所有者ごとの森林を見て、その森林に対して施業の勧告なりなんなりをしていただくということは半分ずつ、半分といいますか、2年で全部してもらおうと、1年は2分の1をしてくださいというふうなことにさせていただきました。

その下に書いておりますのは、なお2分の1については何ら監視なりなんなりできない、例えば山の災害なり、山の状況というのがわからないということで、その辺のところは見るようにしたいということで、その経費として78万3,000円を計上させていただいたということでご

ざいます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） ということは、156万6,000円のうちの半分しか使わないということですか。もし仮に使わないとしたら、72か、要するにことしの対象外のやつを別枠で見て、金額としてはトータルになるということなんですか。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 予算書の方の説明の欄に上げておりますのは、これをトータルした額を上げております。それはといいますと、先ほど申し上げましたように、全部所有者の山も確認しまして、どの方の所有者の山がどういうふうな木の状況で、間伐なり枝打ちをしてくださいよというふうなことまで含めてやるというのがもともと、昨年まですべての山について行ってまいりました。それを来年度からは半分、2分の1をそういうことをしていただきまして、残りは個人の所有の木までどうこうという話じゃなくて、その山の状態をとにかく見るというふうなことで、ここの額は、そういう個人の山の個別のところまで調査をしませんので、その部分の額は安くなっているということでございます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 結局民有林全部やられるということの理解でいいですか。

それともう一回、ちょっとわかりにくかったんですけども、78万3,000円というのは括弧書きの数字だと理解して……。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 156万6,000円と78万3,000円と分けて予算説明資料の方には計上させていただいておりますけども、予算書の方には、説明資料には合わせた額で234万9,000円ということで上げさせていただいております。これは一括で委託をして発注したいというふうに考えておりまして、内数じゃなくて、それぞれの額を足したものが予算書の方に上げさせていただいておりますということでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、質疑を終結し、進行いたします。

次に、7款商工費から8款土木費まで、57ページから63ページまで、質疑ありませんか。
1番。

○議員（1番 清水 成真君） ファミリー・サポート・センターについてお聞きをしたいと思

ます。

平成23年度の運営と、保育所、保育園とのかかわりをお聞きします。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） ファミリー・サポート・センターについてのお尋ねです。

ファミリー・サポート・センターは、ことしの1月に開設いたしまして、現在、お願い会員と提供会員、提供会員は任せて会員ということで今、会員を募集中です。23年度におきましては、会員をさらにふやしていくことと、そして利用していただけるように、対象先において利用していただきたいと思っておりますけれども、保育園とのかかわりということですが、ファミリー・サポート・センターは、保育園等への送迎だったり、緊急な場合に利用していただくというようなことで、保育所とは特に関連はないと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 保育所とは特にかかわりがないということだと、ちょっとファミリーサポートの点からすると非常に、ちょっと疑問には思うんですが、やはり子育ての部分として保育所の送迎も含めて、そのサポートする人たちですね、そうすると、やはり非常にかかわってくる部分があるんじゃないかなと思いますが、保育所とは一切関係ないところにファミリー・サポート・センターという考え方になるのでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 基本的には保育所とはかかわりないと思っております。ファミリー・サポート・センターと申しますのは、急に子供さんに関することでお願いしたいという会員さんがありましたら、町がセンターになっておりますので、そういう任せていただける方の会員さんをこちらの方が御紹介いたしまして、その方との連絡をとりながら利用していただくということになりますので、確かに保育園が終了しましてから、急に迎えに行けないというような方がありましたときには、その保護者の方からセンターの方に連絡があるというようなことはあると思いますが、直接保育園とはかかわりはないと思っております。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 安心・安全の面からでも、やはりそのサポートのセンターの会員の方ですね、やはり登録されるわけですから、保育園にもその登録の名前をやっぱり知らせるべきであって、だれが来られて、だれが何時何分にその子供を連れて帰ったというようなところもやっぱりきちんと必要ではないのかなと思っております。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（1番 清水 成真君） 要りません。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） じゃあ、ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 町営住宅のことで、管理費が上がっていますが、町営住宅は足りていますか。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 町営住宅が足りているかどうかということですね。

今のところ町営住宅の希望といいますか、待機者というのはないように思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいでしょうか。

じゃあ、ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。じゃあ、質疑を終結し、進行いたします。（「休憩、休憩」と呼ぶ者あり）休憩しません。

次に、9款消防費から14款予備費まで、64ページから78ページまで質疑ありませんか。
4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 64ページの消防団特別活動装備費81万8,000円あります。説明資料36ページ、大瀬多機能班に配備をするという下降器とウェットスーツ。何点かお聞きしますので、いいですね。何点かお聞きします。

まず1点目。この装備を使う、あるいは使ったことが過去の事例において発生しているのかどうか。三朝町政の中で、過去の災害においてこれを使うことがあったのかどうか、これ装備されていれば。いいですね。

2点目、この予算をつけることで、今後、どういう場合にこの装備を使おうとしているのか。それぞれお伺いしたい、お答えをいただきたい。

3点目、この装備をすることによって、当然訓練等が必要になってくると思いますので、この訓練計画はどうなっているのか。どこで、だれが、いつするのかという点。

それから、次の点、消防の場合は初期消火ということになっています。下降器あるいはウェットスーツを使った場合の基本的な考え方はどうなのか。

それから、中部広域あるいは防災ヘリとの関係はどうなのか。

次の点、現場に到着したとき、例えばウェットスーツを着た場合に、だれがその命令を下すのか。

消防隊員は大体、町民の安全を守るということになっていますが、この装備を使って現場で行動する場合、人命救助をされる場合、大瀬多機能班の人命はだれが守るのか。

それから、大瀬多機能班のメンバーは、私、把握しておりますが、平日の日中はほとんどいません。いる方もたまにあります、ほとんどいません。そうした中で、大瀬多機能班が出動することは、夜あるいは日曜、祭日ということに限定されると現状では思いますが、その点はどうか考えておられるか。以上、お答えをいただきたい。

○議長（牧田 武文君） 平井総務課参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 今、福田議員の方から7点ありました。お答えいたします。

まず、過去にこういう場合の事例はあったのかということでございますけれども、私の知る限りでは、知っている範囲ではないのかなと思っております。

それから、どういう場合に使用するかということですが、これにつきましては、過去、ちょっとがけから落ちられた場合、それから川またはダム湖とかに車が転落したようなときとか、川の浅瀬とかそんなのでおぼれられるような、おぼれられるというのが、みんなじゃないんですけども、そういうような場合に使用するということでございます。

それから、訓練計画につきましては、滑降部分になると山岳だと思います。これは倉吉消防署、それから八橋警察署に山岳、大山管内の管轄を持っておられるようですので、八橋警察署等の協力を得て、訓練なり基本的なものを学び取ってみたいと思っております。

それから、水難関係につきましては、羽合消防署が海辺を抱えておられるということで、そういう事例もあるようでございますので、そこで訓練なりを習得すると、技術の習得などをするとというような計画しております。

それから、消防、初期の段階でということがありましたけど、この質問、どういうのだったですかいね、4番目。

○議員（4番 福田 茂樹君） 消火は初期消火、消防団員は。ただ、下降器やウェットスーツの場合は、どういうスタンスかとお尋ねをしました。一緒にするのか、後からするのか、最初にするのか、その行動を。その考え方です。

○総務課参事（平井 文彦君） 広域との関連ですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） そうです。

○総務課参事（平井 文彦君） これにつきましては、先ほども福田議員言われましたように、常

備消防と非常備消防、ちょっと差は出てくると思いますので、どちらが早い遅いというのは結果じゃないとわかりませんが、とうとい人命を守る立場から、町民に最も身近な防災機関ということで、どちらのあれが、部隊が早い遅いというのはあるかもしれませんが、町民の負託にこたえるように……。

○議員（４番 福田 茂樹君） 基本的な考え方を聞いているんですよ。消火は初期消火でしょう。この２つはどういう基本的なスタンスを持っているか聞いているんですよ。

○総務課参事（平井 文彦君） どちらにしても、火災と同じように初期になってくると思います。

○議員（４番 福田 茂樹君） 初期ですね。

○総務課参事（平井 文彦君） はい。

それから、命令はだれが行うのかということがありますけども、これにつきましては、昼間を想定した場合、団長もしくは副団長ということになります。それで、どちらにしても安全管理、指揮する者の任務としては安全管理ということが一番考えないけんと思いますので、危険が及ぶような場合は、もう対応はしないという、その場の判断ということになります。

○議員（４番 福田 茂樹君） 意味がわからん。

○総務課参事（平井 文彦君） 今の答えと同じようなことになるとは思いますけども、多機能班の人命というか、団員さんの人命はだれが守るかという質問でございますけども、先ほど言いましたように、訓練を積み重ねていただく、基本も習得していただくということをお大前提にしておりますけども、指揮者の任務、安全管理が原則でございますので、最終的には町が責任をとるようなことになるとは思います。

それから、昼間のことだと思いますが、どの班にも言えることだと思えます。団員はほとんどが職業を持っておりますので、特に昼間の部分の活動に関しては、これから課題として検討していきたいと思っております。

○議員（４番 福田 茂樹君） 質問が違う。

○総務課参事（平井 文彦君） 質問といいますと。

○議員（４番 福田 茂樹君） 答弁が。夜とか日曜祭日しかいない、そういうのを御存じかって、そういう場合を想定して、これはやっているんですかということですよ。平日の昼間は想定してない、いないんですから。

○総務課参事（平井 文彦君） １年間に大体３６５日で、災害というのが、大体８割が土日が多いんです、統計的にですよ。そういう意味で、安心をしとるわけじゃないですけども、平日の昼間というのは、火災にしろ、往々にして８割方土日という結果が統計的にありますので、幾分そ

ちらの方は対応できると思っております。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 余りにも情けなくて、答弁が。いいですよ、最初から聞きますよ、今まで、過去の三朝町の災害事例において、ウェットスーツや下降器を使うような事例はなかったと言われましたね、ないんですね。ないって言われましたよね。そうすると今は言ってますんで。

それから今後、どういうときに入るか。がけから落ちる、がけから落ちたのを最初に助けに行くのが大瀬多機能班。それも土日、あるいは夜。それから川に例えば車が落ちた、あるいはダムに落ちた、浅瀬に人が残された。最初に大瀬多機能班が行くんですね、さっきのお話だったら。

それから、まあ訓練はいいでしょう。大瀬の多機能班の方が、例えばがけ、日曜祭日のがけ、あるいは川の中、あるいはダムといったら中津。広域より先に行けるんですか、これ。先に行って、最初に活動するんですか。どんな活動するんですか、さっき助けるって言われましたけど。中部は、中津ダムだったら防災ヘリでしょう、そんなのはもう。

第一、中部広域に電話かけて、多機能班にはだれが電話するんですか。私はこれがわからない。最初に大瀬多機能班に、今、川でおぼれてますから出てくださって、最初に電話するんですか。119番でしょう、最初は。当然広域でしょう、これは、こういう仕事は。私はこういう予算は認めるわけにいかない。私は大瀬多機能班の命を守りたい。いかがですか。今の答弁、お願いします。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 先ほど事例ということで、私の知っている範囲のことを申し上げましたので……（「いいよ、それで。十分でしたよ」と呼ぶ者あり）過去にあったかないかというのは、知ってる範囲ではなかったように記憶しております。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 川に入っていくんですか、広域より先に。

○総務課参事（平井 文彦君） それで、多機能班のことばかりになっちゃうんですけど、今。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 多機能班の予算でしょう、だって、これ。

○総務課参事（平井 文彦君） それで、最初に一番身近なところが、第3分団なんぞがやはり駆けつけて、何ていうですかね……。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 多機能班の予算を私は今聞いてます。

○総務課参事（平井 文彦君） はい。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 広域より先に行くんですか。

- 議長（牧田 武文君） ちょっと待ってくださいね、ちょっと森脇副町長の方で答弁されます。
- 議員（４番 福田 茂樹君） 何で副町長が手挙げとるんですか。今、私は担当に聞いてます。
- 議長（牧田 武文君） ちょっと担当が詰まって……。
- 議員（４番 福田 茂樹君） そのためにきょうおられるんでしょう。
- 議長（牧田 武文君） ちょっと担当が詰まるとるけえ、ちょっと。いいです。

副町長。

- 副町長（森脇 光洋君） いいですか。
- 議員（４番 福田 茂樹君） 議長、管理者じゃないですか、後ろにおられるのは。
- 議長（牧田 武文君） 関連するなら……。
- 議員（４番 福田 茂樹君） それぞれそういうとこの担当の、何のためにいるんですか。
- 議長（牧田 武文君） ちょっと関連するだけえ、ちょっと、ええです。

はい。

- 副町長（森脇 光洋君） じゃあ、済みません。補足説明をさせていただきます。

まず、当然最初にこの大瀬の多機能班にやっていただくことは、先ほど担当参事が申しあげましたように、初期の対応でございます。ですから、広域消防が参りましたときには、現状を見ながらそこに引き継ぐという考え方は、基本的な考え方であろうと思います。

それからもう一つは、当然多機能班よりも常備消防の方が現場に早く着くんじゃないかというような御指摘もございました。例えば先般の田代の火災がございました。そのときの状況を見ますと、現地に到着しているのは広域消防よりも……（「消火のことは聞いてませんよ、そんなことは」と呼ぶ者あり）消防団の方が先に着いております。やはり危機管理というのは、今回の岩手等の災害もございませぬけども、最悪のケースを想定して装備を整えていくというのが基本的な考え方だと町としても考えておりますので、実際にどういうふうな形で使う事例があるのかということは、使うことはないかもしれない、けども、そういう場合に備えて、団員の安全も備えて訓練をしていただいて、そういうふうな装備も整えて、町としてはやっていきたいというのが私たちの思いでございます。以上です。

- 議長（牧田 武文君） ４番。
- 議員（４番 福田 茂樹君） さっきの１１９番にかけるでしょう、最初にという答弁がない。
- １１９番の方が先でしょう。大瀬多機能班に電話かけないでしょうということは……。

- 議長（牧田 武文君） 森脇副町長。
- 副町長（森脇 光洋君） それでは、お答えさせていただきます。

先ほど田代の事例を報告させていただきましたが、田代の事例につきましては……。

○議員（４番 福田 茂樹君） 田代は火事。

○副町長（森脇 光洋君） まずちょっと説明させてください。

こういうふうなケースもあるということで御承知いただければと思いますが、田代のケースにつきましては、確かに火事でごさいましたけども、最初に役場の方に連絡があって、その後に119番に行ったというふうな事例もございます。現場の方で慌てられて、まず役場に電話せないけんということで役場に連絡いただいて、いわゆる常備消防よりも消防団の方が早く現地に着いて対応してたというふうなこともございますので、いろんなケースも想定しながら、消防団というふうな形がどういうふうな形で町民の安全を守るかということも考えていかないけんと思っていますので、私はそういうケースも想定しないとイケないというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） ４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） はっきり言いまして非常に無理な説明です、３番目の。非常に無理があるんですね。いいですか。想定される装備、この下降器とウエットスーツ。ウエットスーツ、川でおぼれてる。着ていく、多機能班が。あるいはそこへ持って行って着るかもしれない。おぼれてるんならそのまま入っていった方が早いでしょう、ほかの人が。それ以上の危険なところに多機能班を入れるわけないでしょう、さっきの話からもそうでしょう。それ以上の危険なところにウエットスーツを着させて、大瀬多機能班をそこへ突入させる、そんなことはあり得ませんよ。それだったら、このままの服で入っていった方が早い、もしおぼれているのであれば。だけえ、非常にあなた方の説明には無理がある。私はこれ、断固反対いたします。終わり。

○議長（牧田 武文君） ５番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 関連質問します。

まず、平井参事から予算が上がってきて、それを大村財務課長なり町長なりが査定されたという中において、どういうので見とられたかちょっと聞きたい。だれでもいいですよ、担当。

○議長（牧田 武文君） 一番最初……。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） １人でいい、１人で。

○議長（牧田 武文君） １人。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 代表で。

○議長（牧田 武文君） なら、大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの、どういう経過で査定をしたかという御質問に対してお答えさせていただきます。

初めに、原課の防災の方から消防団員の下降器、それからウェットスーツ等ということで、それぞれ要求があったところです。これに対しましていろいろ聞き取りを行っております。ただ、財務課長の判断としましては、消防団員の救助等の範囲が不明確であったこと、それから装備のみの、物だけの要求でしたので、それにかかわる訓練はどうするのかといったことが不明であったこと、それから私の経験上なんですけれども、ウェットスーツというのは個人ごとにきちんとサイズがあるということで考えておりましたので、それが要求について、どういう活用になるかということが不明でしたので、保留ということで、一括保留ということでしたような経過がございます。

予算の査定というのは、財務課長が要求が上がってきたものに対して査定を行いまして、次に副町長の査定を仰ぐこととなります。それから最終的には町長の判断という3段階の流れで組み立てているわけなんですけれども、副町長の査定において、私が一括保留ということでつなげさせていただきましたので、副町長におきましては、私その不明だとした主に3点について再度聞き取りを行っていただきまして、これについて整理がつかないため、町長査定ということで、さらに送らせていただきました。

最終的に町長査定の段階では、先ほどの救助等の活動の考え方、それから装備においての訓練が必要だということで、じゃあ訓練費を計上しようと、それからさらにはウェットスーツについて、最低でも3人分を用意しろというようなことで今回の予算を組み立てさせていただいたところでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） なかなか非常に、何か査定において違いがあるというふうに認識しました。

それで、まず一つ聞きたいのは、皆さんが認識されとるのか、私わかりませんけん聞きますわ。大瀬多機能班というのはどういう仕事をまずされるのか。例えば交通事故のときに、例えば車が、工作車が出るときに大瀬多機能班が出るのか、どういう機能を備えておられるか。

それで、例えば今、福田議員もしきりに言いましたけど、大体普通考えて、ウェットスーツって潜水に使う一部分というか、が主だと思うわけですね。あと泳ぐのに、冬場に泳ぐのは寒いけえウェットスーツを着てもいいかしらんけど、潜水目的の器具の一つだというふうに思うわけですし、それで、さっき福田議員もさんざん言いましたけども、さっき副町長が田代の火事は三朝町の消防団が行ったという話ですけど、たまたまですわ、それは、たまたま。広域への連絡が遅かったけえ、ちょっと来るのに時間がかかったという話だと思うですわ。

それで、まず、どこの現場へ行っても、町の消防団は人員が集まらんけえ、何も出動できんけえ、待っとるけん出れんという状況で、第一到着は広域だと思うですわ。そしたら、広域が状況に応じて、おぼれかかったら見て見ぬふりしとらず、だれかが入るわけであって、そうしたら、後から行った多機能班の人が入ることはないでしょう、ほとんど。だけえ、装備されるのはええだけど、これ過剰装備っていうか、飾りなら要らん。

それからもう一つ、団員が言われるには、今ウエットスーツ買うなら、ヘルメットも古になっ
たし、防火服も古になったけん、そっちの方を買ってもらいたいわいと言う団員がいっぱいお
られますわ。この辺どうですか。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 予算の査定の経過等も財務課長から報告をさせていただきました。すべ
からく防災関係の備品の装備にかかわらず、そのほかの予算につきましても最終的には私の査定
が終わった段階で議会に提案をするという形になるわけです。

今回の消防の装備、備品の整備につきましては、要望に基づいて、それに近い形を整えるよう
に努力をしたということであります。要望は三朝町消防団であります。消防に対するそういった
整備につきましては、今後もなお足りない部分があれば逐次予算の範囲内の中で、議会の皆さん
にお認めいただく方向で提案をしていかなければいけないと思っていますところあります。

したがって、過去の事例等につきましても、三朝町が昭和28年に発足をしてから、過去、河
川を消防団が捜索をするという事案は、まず第一に伊勢湾台風の後の行方不明者の捜索があっ
ております。そうした状況の中で、川でお亡くなりになるという事案については、全くないとい
うことではありません。なお、さらに昭和28年以降にさかのぼると、さらにそういった事案はそ
れぞれの地域で発生をしていることを過去の被災状況の中で確認することができます。これは、
子供たちが川で泳ぐということが日常の習慣の中で行われていたころのこととございますから、
その後、各学校にプールが整備をされて、川には行くなと、泳ぐならプールで泳ぐというのは、
子供たちの水死事故を防ぐための学校の教育方針で、今日まで来ているかというふうに思ってい
ますが、今、自然に親しめという言い方も一方ではされておる状況にありますので、先ほど申し
上げましたように、要望に基づいた消防の機材の整備の一環だというふうにとらえていただき
たいと思います。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今の答弁がないよ。多機能班の、どういう仕事するか。

多機能班の仕事は、どういう仕事するかって言うだが。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 質問にお答えいたします。

地域の消防団に備えられているのは、消防車と消防用機材……。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 多機能班のことだけでええ、そがに地域のことまでええけえ。多機能班の、ほとんど動けない……。

○総務課参事（平井 文彦君） 言ってみると、特殊な機械等を持っておりますので、さっき遠藤議員もおっしゃいましたように、中部消防と連携をとって、車の事故であるとか、それからAEDで心肺停止、そういう方の命を救うとか、多岐にわたると思います。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何言って、これ答弁になっとらんで。

○議長（牧田 武文君） 最後ですので。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに今聞いた話によると、配備されてから、この間、田代の火事に初めて出動されたという経過を聞きました、その多機能班の人が。それも全員そろったかなんてことは知りませんよ。

それで、例えばウエットスーツを買うの3着っていう話で、それは大、中、小サイズがあるそうなんですが、つくって、ちゃんと採寸して、ぴったり合うたものをつくらんといけん。それで、例えば、それなら班員がかわったら、その都度更新されて装備されるですか。

それからもう一つ、このウエットスーツというのは、使わんと劣化してだんだん悪くなるという話を聞きますが、年に一遍使うか使わんかわからんもんを買うて装備するということは、非常にロスだと思う。それはもっと違った方面に、さっき言ったように防火服とかヘルメットなんかよっぽど利用価値があるんじゃないですか。だけえ、上から買えって言われたけん、はい、買いましたってということではいけんでないかな、もっと審議されんと。さっきも財務課長が言いましたが、これは何かクエスチョンマークをつけたら、副町長の辺で、どこで決まっちゃったという話だで、話になりませんわ、これは、ほんに話が。

消防関係というのは、町民の安心・安全、必要なものはええけど、こがなわけがわからんもの理解を求めるのは大変ですよ、これは多分。さっき言いましたように、町の消防団は広域が出たら後方支援だというふうに認識した方がええじゃない、はっきり。だけえ、さっき言いましたけど、広域が川に入ってるのに、続けて入ることはありゃしませんわ、多分。そこまで危険を冒して何のメリットがあるですか、早い話。

○議長（牧田 武文君） 答弁要りますか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要りますわいな。当たり前。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） ウェットスーツの件で先ほど遠藤議員おっしゃいましたけど、寸法をはかってするとかというのは必要なんですけども、ある程度水が入るような、極端なあれではないというような、保温のためにという、ぴたっとしたものでないといけんということではないようでございます。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 大、中、小とあるだけいな。

○総務課参事（平井 文彦君） ということで、大は小を兼ねるといふ、そこまでは言いませんけども、ある程度の人数が着用できるようなふうに持っていきたいと思っております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何ら効果あらせんがな。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 68ページ。というのが、物件費が載っておりますけども、小学校準要保護児童援助費、先回の補正のときにもちょっと聞いたですけども、今、子ども手当という国からの助成がありながら、この三朝町が教育費の一部負担をしているというようなことになっているということですけども、これ、払わんのか払えんのか、その基準が非常に甘いということではないかと判断しますけども、今後、この費用について見直しということはないでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 今のお尋ねは、準要保護の児童生徒のことだったと思います。

これにつきまして、経済的な理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対しまして補助をするという制度でございます。中身的には給食費とか修学旅行とか通学費とか医療費とか校外活動費とか、こういったようなものに対しまして補助を考えておる次第でございます。

先ほど子ども手当のこともおっしゃられました。そういったこともありますけども、町としてはこういった部分の補助も必要と考えておるところでございます。

この選考に当たりましては、地域の民生委員の方の御意見もいただきながら、教育委員会の中で審議をしておる状況でございます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 皆さん協議されての部分ですけども、そこがチェックというか、先ほども言ったんですけど、ほんに払わんのか払えんのか、多分子ども手当というのはそういう部分に充てるといふのが一つの基準になってますからね、やっぱりその基準という部分を本当に真剣に考えて、不平等、払わない人に対しても町が負担するという考え方でなしに、本当に払えん人、その基準をきちんと判断されな、皆さんで審議しとるって言うけども、その基準がしっかり

してないということが問題になるんじゃないかなというふうに思っておりますので、今後、そういった見直しをされるのかされないのか、出てきたものはすべて出すのか、そこらのことをきちんと説明をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 寛君） 基準の見直しということでありましたが、基準の見直しにつきましては、今のところは、その中には、基準といいますか、前年度の所得も参考にさせてもらって補助の対象を決めさせてもらっております。そして基準の見直しということは、先ほども言いましたけども、校外活動費とか医療費とか通学費とか修学旅行とか給食費とかということに費用を充てさせてもらいたいと考えるものでございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 65 ページの一番上にあるわけですけども、防災基盤整備事業、消防施設、これは大瀬の防火水槽と、それから西谷班の消防ポンプの更新だというふうに伺っておりますが、以前に小型ポンプと積載の更新のときに平井参事の答弁は、覚えておられますかな。私、質問したときに、今後、更新時期が来ても、修理して使えるものは修理して使うというふうに言われましたな。

○総務課参事（平井 文彦君） はい。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） この1台あるポンプというのは、修理して使えんですか。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 消防ポンプの購入についてお答えいたします。

昨年ですけども、消防ポンプ性能試験というのを、西谷班のポンプ車をしていただきました。真空能力、加圧能力、これいずれも規格数値を下回っております。それからもう約20年になりますので、シャシーですね、これが部品調達等をするのに、もう廃品になつとということもありまして、十分な対応が困難だということで、総合的に無理がありますよという試験結果をいただきましたので、それに予算上程させてもらっております。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 何でもそうだと思うんですけども、農機具でもそうだと思うですわ。例えば修理してもらうときに、もうこれ、いけんけえ、買いかえた方がいいでって、絶対業者は言いますよ。そのときにどがに判断するかということも大事だと思うし、実際にあの田代の火事

のときに、下西谷班も出勤して水出しとるという話じゃないですか。使えることは使えるということでしょう。違うですか。それで、まずそれだけえ、待っとんないな。

それで、これ過疎債を2,660万円使われるというふうに載っておりますな。何ぼでも金が使えるけえ使やあいいっていうもんでない。過疎債もただじゃないわけですけえ。

ほんで今回、3月発注でしたか、小型と積載と、積載2台と小型何台か購入されたでしょう。ああいう経過も何遍も言っとるわけで、消防関係というのは安心・安全のためには大変必要なことだと思うけども、稼働できる体制に持っていくのが一番大事なことだと思うですわな、稼働。あるけど出なんだ、よう出なんだ、さっきの話と関連しますけどな。消防団員がおったって動けん班がいっぱい。この辺の解消から考えるためには、班の統合なり、積載とか自動車の班員を増員して対応できる体制づくりが一番大事だと思うわけですけどね、どうですか、その辺。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） では、遠藤議員の質問にお答えします。

確かに小型動力ポンプ、それから消防積載車とかポンプ車については、期限が来てもできるものについては延ばすという、延長するというようなことで、このたび20年からになってるポンプが4件ほど、4班ありましたけども、これは先ほど言いましたように性能試験をさせていただきまして、まだ特に問題なく使用できるということをいただきましたので、小型ポンプについては、今回は計上しておりません。

消防ポンプ、今回の分については、国が定める法律というのも耐用年数というのはありませんし、メーカーとしても耐用年数というのは定めておりません。それから使用頻度によっても幾分違ってくるとは思いますけども、総合的な検査を行っていただいた結果、更新ありきということをいただきましたので上程させていただきました。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） もう一回。

○議長（牧田 武文君） ちょっとですよ、短く。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに小型でも自動車でも、やっぱり点検というか、班ごとに、例えばメーカーを呼ぶ、メーカーっていうのはその専門、岩谷ポンプですか、呼んできて講習会、ここの部分が一番傷むけえ、ここを点検して、こがにせないけんですよっていうやな点検をすることをされると、ある程度寿命というか、長もちするでないかと。だけえ、使ったら使いつ放しとかね、エンジンがかからんとか、そういう事例が起きるじゃないですか、そういうのをもっと徹底されて、やっぱり大事に使ってもらおうということをしてもらわないけんと思います。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですね。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） はい。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） いいの、これ。もう12時過ぎてもいいの。

○議長（牧田 武文君） いいですよ。

3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 72ページ。説明資料は138ページになります。

三徳山の行者道の、この国の補助事業で300万ということで、5年計画の。そのうち町ではこの8分の1を書いてあるんですが、これ計算すれば、8分の1は24万だと思う。これ印刷ミスなのか、計算ミスなのか、37万5,000円。これ24万じゃないですか、これ。300万の8分の1なら。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 300万の8分の1は、そこに書いております28万5,000円……。

○議員（3番 吉田 文夫君） 300万円。この補助が8分の1だったら24万でしょう、これ、違いますか。138。

○議長（牧田 武文君） いいですよ、どうぞ。

○教育総務課長（布廣 覚君） その事業費300万でございますので、半分が国の補助でございます。150万が国の補助になります。それで、残りの事業費の半分以上を県が補助をします。それで、そんなの残ったところの半分ずつを地元と町とで補助をするように考えておりまして、それは8分の1の金額が……。

○議員（3番 吉田 文夫君） 300万の8分の1って書いてある。

○教育総務課長（布廣 覚君） その8分の1が37万5,000円となります。

○議員（3番 吉田 文夫君） 150万の5年分が……。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

○議員（3番 吉田 文夫君） いいや、わからんのだ。国が2分の1で……。

○議長（牧田 武文君） ちょっと手挙げて言ってください。3回です。

布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） これは1年間分の補助金でございます。1年間分の補助金でございます。

○議長（牧田 武文君） 吉田議員、いいですか。

○議員（3番 吉田 文夫君） もう1件。

○議長（牧田 武文君） 別なの。同じじゃないでしょう。

○議員（3番 吉田 文夫君） 別個です。

○議長（牧田 武文君） 別個ですか。

ちょっと待ってくださいね。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今、吉田議員が質問されましたのと同じことで聞かせていただきますが、大体今、拝観料400円、入山料200円という、入場者とか山登りの人に負担を負うて取っとるわけですか、拝観料とか入山料というのを。そういうのを取られるということは、やっぱり自分で管理されないけんでないかな。私、そがに思うけど、原則的に。何にもないから、拝観料、入山料を取っとらんけえ、直すのに金が要るけえ、補助金をいただけんでしょうかというのわかるですよ。相当な金が上がると、これは言い方が悪いけども、一つの寺が何だか全部使っとられるというような話も聞く中において、さっき地域どうか言われたけど、やっぱり受益者負担というのの分にならへんですか。たまたまこういう国宝だったために、先回あった本堂の改修のときも、国、県がつけるけえ、町も何ぼかつかないけん。そのときに、うちらちもあのときにね、やむを得んって減額してつけたという経過がある。だけど、これはやっぱり、拝観料は取っとられるけえ、自分でされるべきと思うけど、どうですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣総務課長。

○教育総務課長（布廣 寛君） これは、三徳山の、これは名勝・史跡の指定を受けております。三朝町はその管理団体として文化庁から指定されております。これ、管理団体ということは、関係者が複数の場合、自治体が管理団体になる場合があるようでございます。管理団体として地元が事業をすれば、それに応分なる補助をとすることは必要ではなかろうかなと考えておることと、三朝町は世界遺産登録運動を目指しながら実施しておる団体でもありますので、こういったことを勘案するとすれば、必要な補助ではなかろうかなと考えておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 言われることはわからんじゃないけど、何でも三徳山が世界遺産に取り組んどるけえ何してもええわということではいけんと思うですわ。町民の理解が得られん。ただ、さっき言ったように、徴収せずに無料なら、ああいうことならやむを得んなということはあるかもしれんけど、それがされとらんわけだから、入場料なんか取られとるだけえ、ある程度自分がしならな、親方日の丸じゃないと思うですよ、私は。

それから、それに関連して言わせてもらいますけどね、笏賀に花倉山というところがあります
がな、花倉神社。あれも三徳山の何か兄弟だか、何だか親子だかというような話を、よう地元も
しなるけど、そこは全然手つけず。それでこの間、地域協議会で上がり口の道をつけてくださ
いと言ったときに、材料費だけでも出いてごせ言ったけど、全然うんともすんとも言われん。片
やほうり投げ、片や何でもつけてあげる、こういう不公平というのに納得できん。答弁。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 花倉山の状況につきまして、ちょっと手元に情報がありません
ですので、そういったことも広く検討しなければならないではなかろうかなという気もいたして
おるところでございます。

○議長（牧田 武文君） いいですね。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） いい。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） 関連質問であります。これは別個のものですが、この遺跡発掘調
査に50万3,000円出てるんですが……（「何ページだいや」と呼ぶ者あり）この同じとこ
です、138ページね。三徳山遺跡発掘調査……（「説明資料」と呼ぶ者あり）説明資料は1
38ページ、同じとこです。

それで、50万3,000円出てるんですが、この遺跡は既に5年も6年もかかって14カ所
もかかっとなって、掘り続けてきて、今のとこ何も出てないいうか、これ、出たのは出たけどよ、
これからまだ23年度も予算つけてこれを発掘するつもりなんですか。おやめになったらどうで
すか、50万3,000円、やめたらどうですか、これ予算から。もう5年も6年もかかってや
っとるじゃないですか、14カ所も。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） これまで議員おっしゃられたように何カ所かやってきました、
そんなにそんなに目新しいものはなかったかなと感じてはおります。

ことし、鈴ヶ岩の発掘ということで、場所が違うところの発掘調査をしたいということを考えて
しております。

○議長（牧田 武文君） 3番。

○議員（3番 吉田 文夫君） また違うところって、14カ所もあの狭いところを掘っとなって
すよ、また違うところで何か求めていくんですか、これ、ここで。おやめになったらどうですか、
もう。やめたらどうですか、予算、この50万3,000円。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 寛君） この予算をやめなったらという御意見でございますけども、三徳山の鈴ヶ岩というところがあります。ちょっと狭いところなんですけども、ここは以前、掘ってみなわからんですけども、だれかが住んでおったのかもしれないし、いろんなことが出てくるかもわからないというところ、未知な部分などところがありますので、こういったところの調査は必要ではなかろうかなと考える次第でございます。この事業につきましても国の補助金、そして県の補助金もそれぞれ投入しながら実施したいと考えております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、給料明細書から最後まで、79ページから88ページまで、質疑ありませんか。いいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で歳出に対する質疑を終結いたします。

しばらく休憩をいたします。再開を1時半といたします。

午後0時20分休憩

午後1時28分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

午前中、藤井議員の質疑に対し答弁保留がありましたので、答弁をお願いいたします。

朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 藤井議員から御指摘がありました三朝町地域運営組織活動支援事業、竹田地域協議会の生活交通の事業ですけれども、車両が5人乗りの乗用車ではないかという御指摘でございまして、確認いたしましたら、そのとおりでございました。おわびして訂正いたします。どうも申しわけございませんでした。

○議長（牧田 武文君） ええかな、藤井議員。

そういたしますと、歳入についての質疑を行います。

1款町税から22款町債まで、10ページから29ページまで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） ２８ページの６行目ですか、町史売り払い収入８，０００円、現在何冊残って、売れる見込みがあるかないか。

○議長（牧田 武文君） 朝倉総務課長。

○総務課長（朝倉 聡君） 申しわけございません。何冊残っているかというのは、ちょっと現在把握いたしておりませんが、売れるかどうかというのにつきましては、前年度も、何冊かではございますけれども、売れております。それで今後も販売に向けて努力していきたいと思っておりますのでございます。よろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） ５番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 次の民芸品売店収入ということで２４万円上がっておりますけど、これは何を売られたのか、町の民芸品、販売するような民芸品があるのかどうか。（「売っくらへん、まだ予算」と呼ぶ者あり）何を売られるのか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 御質問は、民芸品の売り払い収入ということですが、美術館の方で民芸品を取り扱っておりますので、そういったものの売り上げの収入をここに計上しております。

○議長（牧田 武文君） ５番。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 何ですか、その民芸品って。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 長谷川富三郎さんの版画の関係とか、そういったもろもろでございます。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） ３回目だな。

○議長（牧田 武文君） もう一回。

○議員（５番 遠藤勝太郎君） 版画の絵、版画でしょ、それ。刷ったの、あれを町が勝手に刷って売ってもいいですか、そういう契約になっとるですか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） そのように私は認識をしておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。（「複製版画」と呼ぶ者あり）

布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 先ほどの答弁でございますけども、複製のものでございます。つけ加えておきます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、第2表、債務負担行為、第3表、地方債、6ページから7ページ及びその他全部について、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） その他全部についてということでございますので、早いがちそうという言葉があります。ちょっと例えが悪いと思いますけども、東日本地震の義援金を出される予定がありますれば、やはり早くこの本会議中に出される方がいいのではないかと考えております。

○議長（牧田 武文君） 平井参事。

○総務課参事（平井 文彦君） 義援金のことにつきましては、きょうこの議会が終わりましたから詳細の打合会を、内部ですけども、持ちながら早急に取り組むようにしたいと思っております。よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） その他でいいですね。予算案について、行政事務の効率化ということで、公共料金や公共事業の受益者負担のあり方を検討しますという中で、具体的にどこの部分の公共料金あるいは公共事業の受益者負担なのか、それを今年度に計画して来年度からするのか、その辺がわかりましたら。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 福田議員の具体的にという話でございます。これは総合計画にも掲げておりますけれども、全体的なものを見直しを計画的にやっていきたいという内容でございますので、御理解いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 今回の予算で過疎債が1億2,250万使われております。これ

の過疎債というのは何らかの基準をもとに使っていくのか、それとも町が単独の事業の中で当てはめた結果が1億2,000万になったのか、その辺。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの福田議員の基準等についての答弁でございますが、基本的には過疎対策に要する指針の本がありまして、どういう事業にどういうふうに対応できるという項目が詳細に分かれております。その事業の本に基づきまして、前に計画させていただきました過疎計画の事業を充てておりますので、それに基づいて実行可能なもの、あるいは早急に行うものとして予算に計上させていただいております。よろしく願いいたします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

以上で議案第5号、平成23年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

議案第6号、平成23年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第7号、平成23年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第8号、平成23年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第9号、平成23年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第10号、平成23年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第11号、平成23年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第12号、平成23年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第13号、平成23年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第14号、平成23年度三朝町会計事務集中管理特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第15号、平成23年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第16号、平成23年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、平成23年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、三朝町の事務からの暴力団排除等のための関係条例の整備に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第19号、三朝町情報公開条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 0 号、三朝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 1 号、三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び三朝町交通安全指導員の設置等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 2 号、三朝町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 3 号、三朝町税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 4 号、三朝町国民健康保険税条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 5 号、三朝町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 6 号、三朝町介護保険条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 7 号、三朝町特別会計設置条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 8 号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 2 9 号、第 1 0 次三朝町総合計画について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第30号、平成22年度三朝町一般会計補正予算（第8号）について、質疑ありませんか。
5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 8ページ、子ども手当費が国庫支出金が1,348万9,000円減額、町にあっては1,344万8,000円、差額が生じとるわけですけど、これはどういうわけでしょうか。また同じことで、鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業補助金の中は同額なんですけど、それから中山間地域直接支払制度についても誤差が出とるわけですけど、これはどうことでしょうか、あわせてお願いします。子ども手当は8ページ、8ページと20ページ。

（「それぞれのページをちょっと」と呼ぶ者あり）さっき言ったが、8ページと20ページ、この差。それから10ページ、11ページにかけての分が22、23。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員御質問の子ども手当について、まずお答えさせていただきますと、この子ども手当費の減額部分に対する財源として、国庫支出金が8ページの1,348万9,000円、それから県支出金が9ページの△で181万というふうになっておりまして、そのマイナスの部分と事務費の部分を加えてトータルの減額部分というふうになっております。よろしく願いいたします。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 増額の分、増額もあるがな。（「何ページ」と呼ぶ者あり）11ページの鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業補助金ちゅうというのは増額で減額されとるわけだが。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員御質問の緑の産業再生プロジェクトの分については、全額そのままが国庫支出金になっておりますので、増額の予算現額計上というふうになっております。よろしく願いします。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） なら中山間地域は。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 中山間地域直接支払いにつきましては、国等の財源と町の持ち出し分とありますので、それは財源の内訳と支出額が異なってくるということでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 子ども手当でも、それから中山間地でも受けたちゅうか、申請

して取り組んだ集落というのは決まっと思うんだけど、これだけ金額が何で減ったっちゃうか、変わってくるか、残ったかというか、返さないけんようになったかということと、子ども手当にしてもある程度人数は想定してあって、ごっつい子供が減ったということですか、これ。

○議長（牧田 武文君） 山根農林課長。

○農林課長（山根 猛昭君） 中山間地域等直接支払いの部分につきましては、平成22年度が3期目の取り組みということでございました。平成22年度当初につきましては、21年度までの2期対策で実施していただいております集落の皆さんにすべてやっていただきたいという気持ちで、そういう予算を組ませていただいていたところでございます。集落の皆さんの最終的な結論もございまして40協定になったわけでございますけれども、協定の数が3つほどトータルとしては落ちております。中身のこともございまして、額としては、この額が最終的に落ちたということでございます。

○議長（牧田 武文君） 山根町民課長。

○町民課長（山根 智美君） 子ども手当の返還の分なんですけど、支給対象児童の確定によって返還、変更ということになるわけですが、国の制度設計によって当初予定していたものよりも少なく済んだということでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 26ページに、中ほどに小学校耐震補強改修事業538万1,000円減額、最終的に総額は幾らかかったんでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 布廣教育総務課長。

○教育総務課長（布廣 覚君） 総額については、今ちょっと手元に資料がありませんので、また後ほどにお答えをさせていただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） じゃあ、また後ほどよろしく願いいたします。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終了し、進行いたします。

議案第31号、平成22年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第32号、平成22年度三朝町老人保健特別会計補正予算（第1号）について、質疑あり

ませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 33 号、平成 22 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 34 号、平成 22 年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 35 号、平成 22 年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 36 号、平成 22 年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 37 号、平成 22 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 38 号、平成 22 年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） インターネット予約の「じゃらん」ですか、でどれぐらいの効果があられたのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 知久馬管理者。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 「じゃらん」とは現在行っておりません。今導入を予定

して4月からでもやろうかなという検討中でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

以上で質疑を終結します。

お諮りします。ただいま議題としております34件の議案のうち、議案第5号、平成23年度三朝町一般会計予算、議案第30号、平成22年度三朝町一般会計補正予算（第8号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第5号、平成23年度三朝町一般会計予算、議案第30号、平成22年度三朝町一般会計補正予算（第8号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。特別委員の選任は、議長において指名したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決定いたしました。

指名いたします。

総務教育常任委員会から、清水成真議員、杉原憲靖議員、産業民生常任委員会から、福田茂樹議員、平井満博議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君は、特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から、清水成真議員、杉原憲靖議員、産業民生常任委員会から、福田茂樹議員、平井満博議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の32件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第5号及び議案第30号を除く32件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

なお、議案第5号及び議案第30号につきましては、それぞれ所管事項の審査を各常任委員会をお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さんでございました。

午後2時51分散会
